

# 時の感覚

## － 体感する時とその先 －



DZ18163 高熊 青野

### Keywords

時 行動の連鎖 光 音 匂い

### はじめに

「ある日、自室で何気なくスマホをいじっていると、隣のおばちゃんの家から漂う秋刀魚を焼く匂いで自分の空腹に気がついた。」

このふとした経験から“個人の閉鎖された意識”と“時間”について掘り下げ、「時の感覚」という視点から建築設計を行う。

### 1. 社会背景

近代以降、産業技術が発展し効率や合理が社会全体の基本原理となった。技術の発達に伴いインターネットやSNSが一般市民へ浸透し、現在では1人1台以上デジタルデバイスを所有する時代である。その利便性は明らかで、欲しい情報に対して最短距離でアプローチし獲得することが可能になった。これをあえてネガティブに換言すれば、ある目的を達成するためには志向する必要があることを意味し、同時にリスクとしてその過程で起こりうる些細な事象を淘汰しているのではないか。例えば、ネットショッピングで目当ての服を見つけられても、画面上に猫が偶然出てきて癒されることはない。住宅も同様で、駅近のマンションで容易にどこへでも行けても隣人にどんな人が住んでいるかすら気づかない。そんな、様々なものに繋がっているようで閉鎖されている感覚が現代には溢れている。

### 2. 研究目的と設計趣旨

本研究では何人にも共通の「時」に着眼する。上述した通り内向きに閉ざされた姿勢が加速している私生活やその住環境に対峙し、時計を行動の基盤とする生活から、周辺環境から感覚的に時を知覚し緩やかな繋がりを持った生活への転換を目指している。

具体的には、時計による明瞭な時間把握ではなく太陽の動きと人の動作を感知しながら時間を把握する生活を考える。太陽を起点として人々の行動が開始され、本人の行動が他者の行動のきっかけとして伝わる。このような行動の連鎖によって時が伝達され、周囲の環境に呼応した生活を実現する設計提案とする。

### 3. 敷地概要

敷地は東京都品川区西五反田とする。五反田はJR山手線、東急池上線、都営浅草線の3本の鉄道が通り、乗り換えの駅としても利用される人の往来が多い街である。計画地は駅周辺の商業が集積しているエリアから一步引いた桜田通り沿いの場所で、現在は建設工事中のため空地となっている。北側にはカンザンという種の桜が脇に咲く目黒川が流れるため開けており、南側には42mの高層オフィスビルが日光と人の視線を遮る。

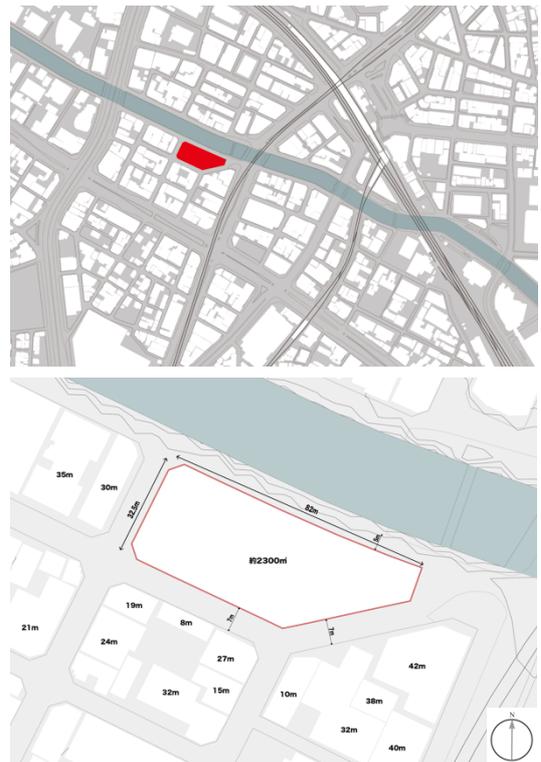


図1 計画地 (赤)

### 4. 設計概要

#### 4.1 提案

時を把握する手段が時計でなかった場合、建築の意匠・構成が変化していくのではないだろうか。

#### 4.2 プログラム

「若手の音楽家の集まる共同住宅」

用途：集合住宅

敷地面積：2,399㎡  
建築面積：  
延床面積：

### 4.3 設計手法

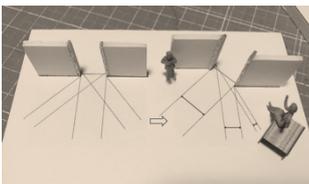
#### 4.3.1 時を伝達する要素

世の中には時計を見なくとも時を感じ取れる場面がたくさんある。旧暦の概念が代表的だが、ここでは1日単位の時間把握を考える。例えば日の出や日没、交通量や人の混み具合、あるいは食事時のカレーの香りなどが挙げられ、これによってふと時間が「わかる瞬間」がある。

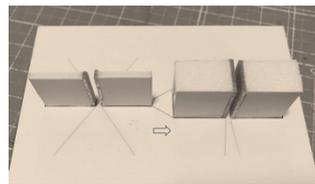
これらの中から光（陽光のほか人滞留などの視覚情報）、音、匂いの3つを時を伝達する要素として抽出し形状に落とし込む。

#### 4.3.2 3要素と建築形状の変移

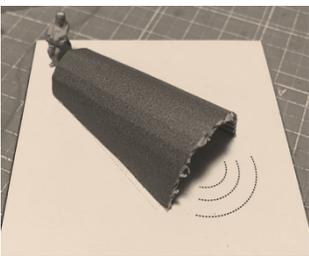
抽出した3要素に対し、時間把握を促す形状をスタディする。例えば写真1の左上の模型は、開口部の形状が斜めにずらされている。これにより差し込む日光の幅が時間帯によって徐々に広がっていくことで時間を認識する。



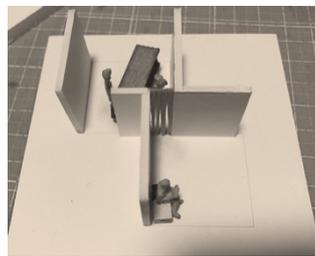
上述



壁面や屋根の厚みが増すことでスリットから入る光の時間帯を制御可能。



メガホンのような壁面の形状が音を拡散させる。



壁面に通気口ができ隣の空間まで匂いが漏れていく。

写真1 コンセプト模型(上2つ：光 左下：音 右下：匂い)

#### 4.3.3 機能の関係図

次に、3要素と機能の関係性を紐解くため図2を作成し、光、音、匂いにそれぞれパラメータ分けを行う。

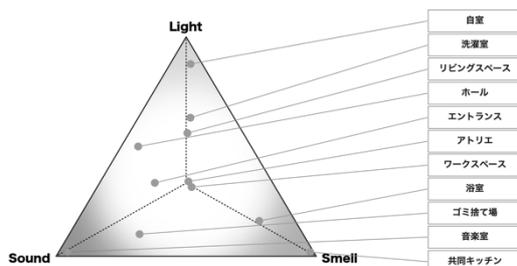


図2 3要素と機能のパラメータ図

さらに、図2をもとに機能同士の関係図と時が伝達される際のダイアグラムを作成した。中心となる機能的なコアは共同キッチンと音楽室が担う。

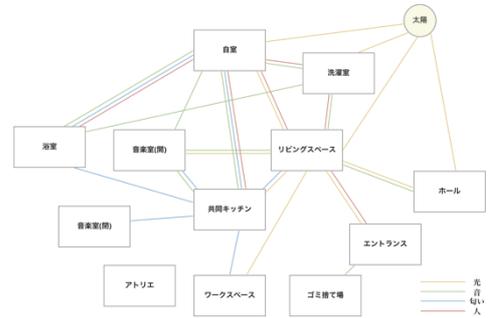


図3 諸室の関係図

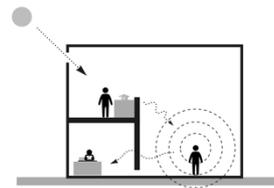


図4 時の伝達のダイアグラム

#### 4.3.4 敷地の特性

##### ・日照調査

東京都品川区西五反田

東経:139.43° E 北緯:35.37° N

敷地内で日のあたりにくいエリアを把握するため日照調査を行なった。五反田の夏至の南中高度は78.03°であり冬至では31.23°である。この数値から周辺建物の影の位置を算出し図5に記す。

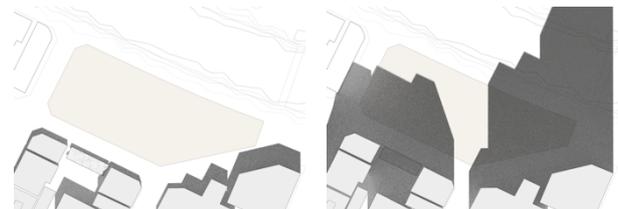


図5 正午における周辺建物の影(左:夏至 右:冬至)

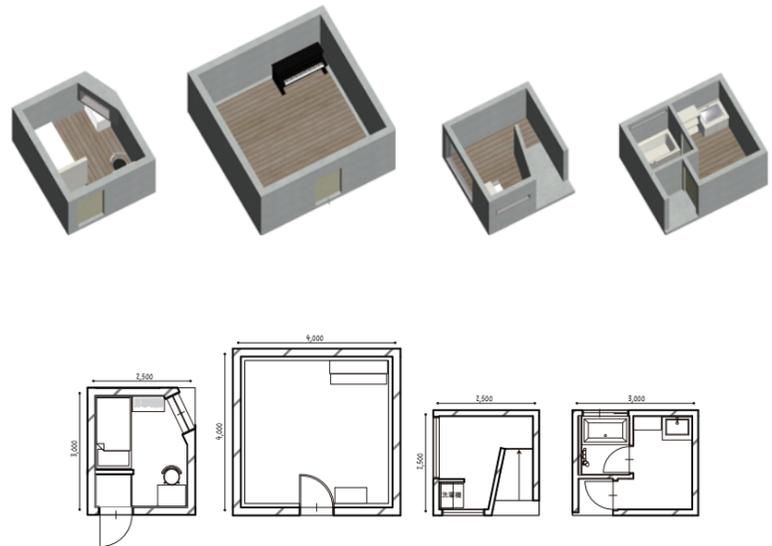
### 5. 展望

本設計提案を通じ、忙しい現代人にとって少しでも身近にある些細な環境の変化に敏感に気づくようになることを願う。またある繋がりの中で生きていくことが、人と人、人とモノとのやりとりを生み、価値観が共有され様々なインスピレーションのきっかけになることと信じている。

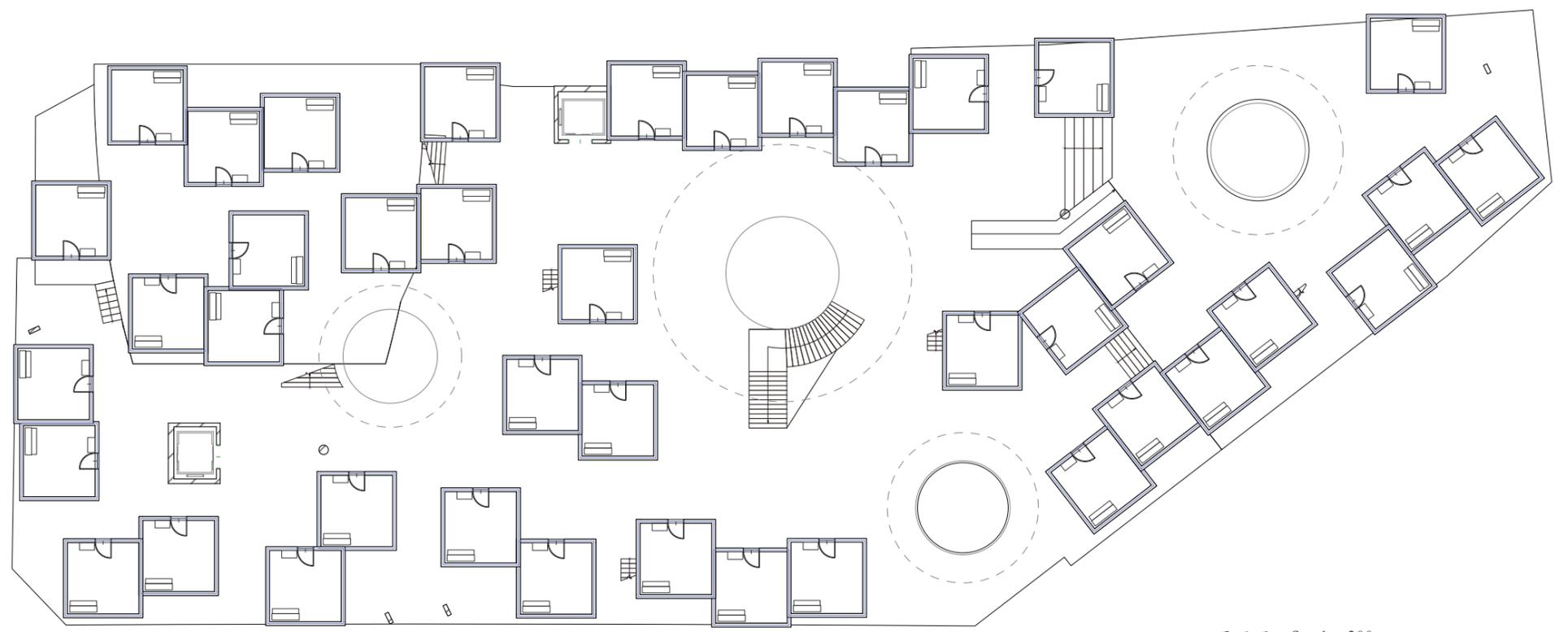
#### 参考文献

・五反田駅周辺にぎわいゾーン まちづくりビジョン

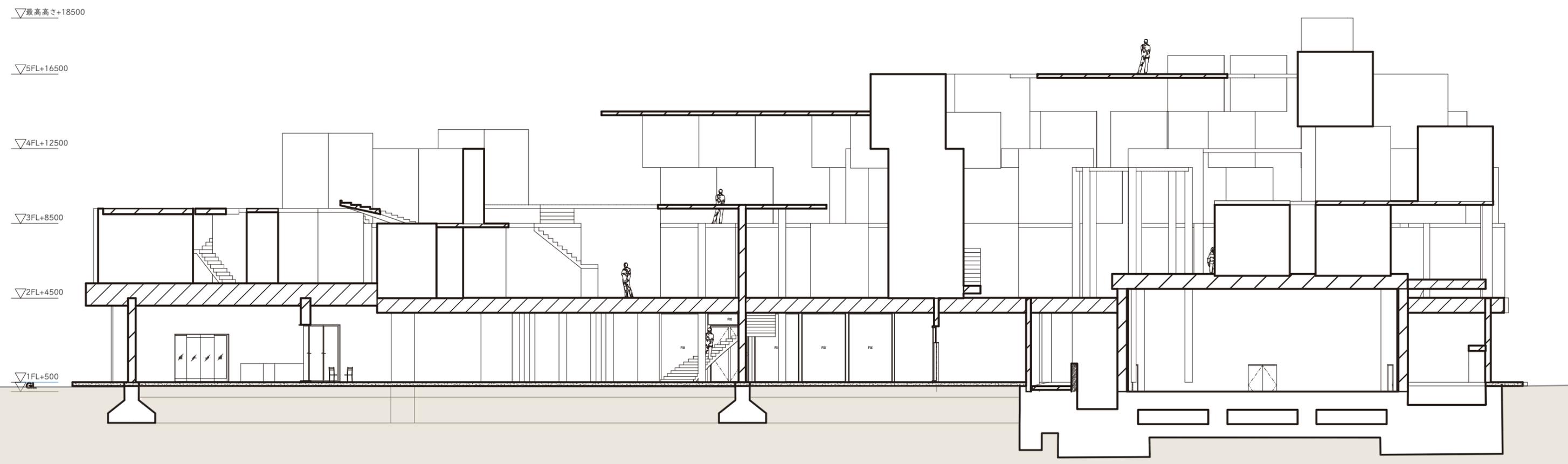
[https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/other000027600/hp\\_vision.pdf](https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ct/other000027600/hp_vision.pdf)



個室平面図 S=1:100



平面図 S=1: 300



▽最高高さ+18500  
 ▽5FL+16500  
 ▽4FL+12500  
 ▽3FL+8500  
 ▽2FL+4500  
 ▽1FL+500

断面図 S=1: 200